

第 6 学年 2 組 国語科学習指導案

1 単元名 時計の時間と心の時間

2 本時の学習指導

(1) 目標

- 「時計の時間と心の時間」を、自分の考えを持ちながら読むことができる。

(2) 展開

前時の学習内容	筆者の意図を捉え、具体例を挙げながら自分の考えを説明する。
---------	-------------------------------

学習活動	学習内容	指導と評価の創意工夫	時間
①本時の学習課題をつかむ。	・本時の学習課題	○前時までの学習を振り返り、本時の学習に意欲的に取り組めるようにするとともに、問題意識を高める。	5
「時計の時間と心の時間」を読んで、感想を書こう。			
②文章を読む。	・正しく音読する。	○わからない言葉に印をつけて、意味を確認する。	8
③初発の感想を書く。	・文章に対して自分の意見を持ち、それを言葉にして表現する。	<ul style="list-style-type: none"> ●「心の時間」と「時計の時間」のそれぞれについて感想を書く。 ○共感したところ、しなかったところ、疑問に思ったところ、驚いたところに印をつけることで、自分の考えをまとめやすくする。 ○印を付けたところをもとにして、ノート 3～5 行くらいで感想をまとめる。 ○書き方で迷う児童が多かった場合、書き方の例として語尾を紹介する。 例) ・～に共感しました。 ・～について興味を持ちました。 ○感想を発表する。 	15

<p>④筆者の主張を考える。 〈児童から引き出した い意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「時間と付き合ってい くうえで、<u>とても重要 であると考えていま す。</u>」が筆者の言いた いことであるので、1 段落目に書かれてい るのではないか。 ・「私たちに必要なのは ～なのです。」という 文が筆者の最も伝え たかったことだと思 うから、主張は最後の 段落（8段落）に書か れているのではない か。 <p>⑤本時のまとめを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張を探す。 ・どんな表現（語尾や文 の書き方）があると主 張だとわかるのかに 注目する。 <p>・本時のまとめ</p>	<p>○文章における1つのかたまりが段落 であることを確認し、形式段落に番 号をふる。</p> <p>○どんな表現があるのかを知ること で、語尾に注目することができるよ うにする。</p> <p>例) 重要であると考ええる。</p> <p>○まとめている文はどこなのかをつか むことで、まとめを通して伝えたい ことがあることに気付く。</p> <p>●一通り意見が出たあとで、文章構成 が「笑うから楽しい」と同じ構成に なっていることに気付く。</p> <p>○本時の振り返り（筆者の主張がどん なところに表れていたのか）を行い、 次時の予告をする。</p>	<p>10</p> <p>5</p>
--	--	---	--------------------

7 備考 在籍児童数 40名

8 板書計画

時計の時間と心の時間

課題

書き方の例

時計の時間について

心の時間について

主張を探すときのポイント